



体調・授業

年を取ると色々やっかいなことがあり、自称28歳の私も色々やっかいな目にあっている。土曜日から調子が悪くなった風邪が未だに完治しないというのもその一つ。一番調子が悪かったのは月曜日で、寒気はするし頭は痛いしで、もう休んじやおっかなあ〜と思ったのだが、3年生の授業があってこの時期はつぶしたくないし、1年生は1年生で週1時間の漢文の日だったから無理して出てきてみたのである。昔は、学校に来てみると生徒諸君から(嫌いな表現だが)「元気をもらって」回復したりすることもあったから、それを期待したということもあるのだが、もうすっかりその期待も裏切られ、しかも、今週は保護者会や徒歩帰宅訓練といったオプションもあってか、なかなか直らないまま。おかげで、昨日は周藤教諭(拡声器)にお世話になる始末であった。やれやれ。

ついでにいうと、目が悪くなるし、集中力や記憶力も劣化してきて、本を読むのも大変な作業になってくる。悪いことは言わないから、若いうちに活字に親しんでおくことだ。電子機器が発達して、大きな活字がスクリーンに映せるような携帯リーダーも出ているが(kindleとか)、大きな字にすれば当然画面全体の情報は少なくなり、それはそれで読みにくいものなのである。やれやれ。

*

さて、最近、2年生の数学と、3年生のコミュ英の授業を見学するチャンスがあって面白かった。

数学は「ベクトル」というのをやっていて、まあ「図形と式」みたいな内容なのだが、先生が「これが直線に見えますね」といって黒

板に式を書いたりしている。例えば、

$$y=ax+b$$

なら、想像力をたくましくすれば、私にも直線に見えないことはない。ちょっと変形して、

$$ax+by+c=0$$

も「直線に見えるでしょ!」と脅されれば(ちなみに、その先生は「組長」というあだ名で、ギョロ目でにらまれると脅されているような印象がなくもない…笑)まあ、見えなくもないといったところか。

ところが、これがベクトルとなると一段難易度が高まる感じで、さらに、「これは円に見えるよね」とか言われても、ははは…みたいな感じであった。

生徒諸君はというと、肯いている人もいれば、私のようにははは…な人もいたようだった。黒板に前もって解かせてある問題を題材に、解いた本人に補足説明させたり、あるいは不足している部分や誤っている部分を補足・添削したり、あるいは別解を生徒に提案させたりと、会話のある楽しい授業だった。

一方、コミュ英の方は、さすがに3年生ともなると、1年生ほど積極的には意見を表明しないのかなあ…という印象。エマ先生が一生懸命発言を促したり、「Volunteer?」と発言を求めたりしているのだが、特定の生徒しか答えなくて、もう少し失敗を恐れずに発言してもいいのではないかなと思った。

人間は間違いから多くを学ぶものだ(その代表が模試)。授業でも、積極的に答えて間違えよう。その方が印象に残るし、次には間違えないようになるものだ。諸君には、そんな姿勢で授業に臨んでもらいたい。